



医療法人 湘南鎌倉総合病院  
 沖縄徳洲会



〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本1370-1

Tel : 0467-46-1717(代表) Fax : 0467-45-0190

ホームページアドレス: <http://www.shonankamakura.or.jp>

ご来院される方にシャトルバスの運行も行っております。詳しくは院内で配布のシャトルバス時刻表か、ホームページをご覧ください。また、「しょうなんメール」のバックナンバーもホームページでご覧いただけます。

湘南鎌倉総合病院

検索

クリック!

## 公共交通機関でお越しの方へ

下記は運賃がかかります。ご了承ください。

### 大船駅より来院される方

#### ●大船駅西口（大船観音側）

1番乗場 神・船32 渡内経由  
 「藤沢駅北口」行  
 公会堂前下車  
 神・船101・102 公会堂前経由  
 「城廻中村」行

2番乗場 神・船34 「南岡本」行

南岡本下車

#### ●大船駅東口交通広場ターミナル （湘南モノレール駅下バスターミナル）

2番乗場 江・藤沢[弥]大船  
 南岡本下車  
 武田薬品前～弥勒寺経由  
 「藤沢駅」行  
 江・南岡本経由 「四季の杜」行

### 藤沢駅より来院される方

#### ●藤沢駅北口（さいか屋・ビックカメラ側）

4番乗場 神・船32 柄沢橋・渡内経由  
 「大船駅西口」行  
 公会堂前下車

9番乗場 江・藤沢[弥]大船  
 南岡本下車  
 弥勒寺～武田薬品前経由  
 「大船駅」行

#### ●藤沢駅南口（小田急デパート側）

8番乗場 江・5301 アズビル前～  
 武田薬品前経由  
 「湘南鎌倉総合病院」行  
 湘南鎌倉総合病院下車

## Access Map

最寄駅 JR大船駅



## 駐車場利用 について

湘南鎌倉総合病院駐車場



患者

一般・面会

料金体系

最初 2時間 200円  
 以降 1時間 100円

1時間 200円

※外来患者さんは診察券が無いと一般料金となります

現在、病院設備工事のため、駐車場の一部が使用できません。ご利用の皆様にはご不便をおかけいたしまして、申し訳ございません。ご理解とご協力をお願いいたします。

コーナン鎌倉モール

1時間 200円 当日最大1000円 お買い上げで180分無料

# しょうなんメール



ご自由にお持ちください  
TAKE FREE

**理念**  
「生命を安心して預けられる病院」  
「健康と生活を守る病院」

## Contents

### 2 P〈新年のごあいさつ〉

・湘南鎌倉総合病院 院長 塩野 正喜

### 3 P〈感染予防対策チームより〉

・冬に見られる感染症について

### 4 P〈院外活動〉

・糖尿病内分泌内科より  
世界糖尿病デー イベントレポート

### 6 P〈トピックス〉

- ・QI(品質改善)大会が開催されました
- ・2016年開設予定 湘南鎌倉バースクリニック
- ・院外処方せん発行へ切り替わりました
- ・小児科の夕方診察休診について
- ・玉縄まつりに参加しました

### 8 P〈病院案内〉



# 新年明けましておめでとうございます。



新病院に移転してから早くも4年が経過いたしました。多くの患者さんに支えられて、新病院でも機能の充実に努め、救命救急センターの認可、外傷センター機能の充実など、より高いレベルの医療を提供できるように努力してまいりました。おかげさまでベッドはしばしば満床状態で、昨年4月に神奈川県より45床の増床が認められ、病院内の改築を行い、11月1日から15階病棟が開棟、ベッド数が619床になりました。

昨年は地球規模の異常気象による大雨や大雪、山崩れや、東日本大震災の影響が御嶽山の噴火など火山活動の活発化や地震も頻発するようになり、関東でも大きな災害への対策が急務になってきています。湘南鎌倉総合病院は、昨年の救命救急センターの救急車取り扱い数が13,000件を超え、ウォークインの一般軽症救急患者さんを始め、心筋梗塞、脳梗塞、大動脈解離、重症肺炎、ドクターヘリで県内外から搬送される手指切断の顕微鏡下血管縫合術、重症開放骨折の積極的治療など、全ての救急患者さんを決して断らずに受け入れてまいりました。増加する手術患者さんに対応するため今年春には地下に3つの手術室を増設いたします。臨床面では昨年4月からは循環器科を中心に、TAVI(重症大動脈弁

狭窄症に対する経皮的カテーテル大動脈弁植え込み術)の保険診療施設に選ばれ(認可は13大学病院を含め全国で16施設)、手術の困難な高齢者などへの治療がスタートしました。9月からは腎臓病総合医療センターで、透析患者さんに多い下肢壊死に対して、患者さん自身の血液から採取したCD34陽性細胞を用いた下肢血管再生療法の臨床研究が始まりました。11月には放射線腫瘍科で、子宮頸がんに対して腫瘍近傍に内部照射して、正常細胞への影響を最小限に抑え重点的にがん細胞を死滅させる小線源治療も始まり、外部照射であるトモセラピーと共にがんに対する放射線治療が拡充されました。前立腺がんに対するダヴィンチ

手術、腎臓移植手術など、高い技術が要求される治療にも積極的に挑戦しております。また近年高齢出産の増加に伴いリスクの高い出産が増えております。病院ではリスクの高いお産を扱うため、旧病院の近くにリスクの少ない正常なお産のためのバースクリニックをオープンいたします。

現在フラワーセンターに隣接して特別養護老人ホーム「かまくら愛の郷」、当院職員のための200人規模の保育園が建設中です。完成しますと、病院に隣接した愛の郷、保育園を取り壊して、2年後を目途に8階建ての外傷センターを中心とした建築がはじまります。旧病院の跡地計画としては、重装備のがんセンター構想を企画しており、湘南鎌倉総合病院は、これからも地域になくてはならない高度の医療を提供する急性期病院を目指し努力してまいりますので、ご支援の程よろしくお願いいたします。



15階病棟



ドクターヘリ



トモセラピー



小線源



完成予想図

特別養護老人ホーム  
かまくら愛の郷



保育園(職員)

## 冬に見られる

## 感染症について

寒さも本番となり、冬の感染症のシーズンとなってきました。

今回はインフルエンザウイルス感染症とノロウイルス感染症について取り上げます。

感染防止対策室 室長 ICD 佐藤 守彦

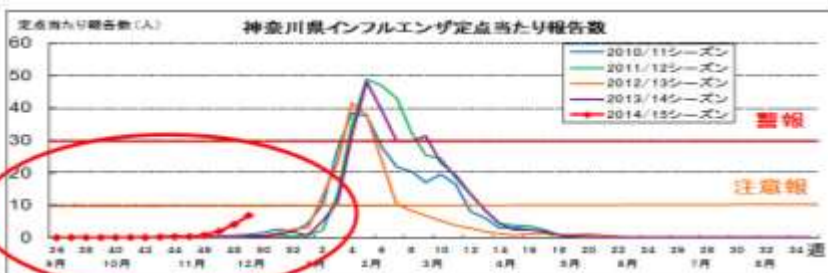
## 【インフルエンザ感染症】

インフルエンザウイルスA型、B型による感染症で**突然の高熱、悪寒、関節痛、筋肉痛**などの症状が現れます。一般的な感冒よりも発症が急激で、全身症状がより強く出現します。重症になるとウイルス性肺炎や脳症を起こし、最悪の場合は死亡します。

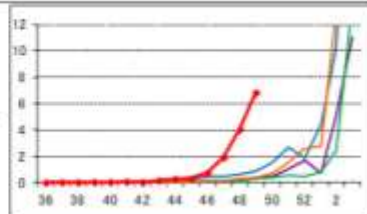
小児で異常行動が出る場合があります。罹患中は保護者が注意深く観察する必要があります。これは抗インフルエンザ薬の副反応が疑われていましたが、ある種の代謝酵素の先天性異常による可能性が報告されています。流行は例年ですと正月頃から患者数の増加が認められますが、今シーズンは例年よりも幾分立ち上がり早い（下記グラフ参照）ようです。以前流行したA(H1N1)ソ連型は淘汰され、2009年に流行した新型インフルエンザ（A(H1N1)pdm09）、A(H3N2)香港型、B型の3種のウイルス亜型の流行が予想されています。今シーズンは今の所、ほとんどがA(H3N2)香港型のようです。最近は迅速診断キットの普及で正確な診断が可能になりましたが、発症早期はウイルス量が少ないために迅速診断キットが陽性にならない場合がありますので要注意です。

インフルエンザワクチンは重症化を抑制したり、死亡率を低下させます。接種後に免疫力が付くまでに数週間を要しますので、流行シーズン前になるべく早めに接種するように心がけましょう。

治療は内服1種類、吸入2種類、注射剤1種類の抗インフルエンザ薬がありますが、必ずしも必要ではありません。いずれも発症後48時間以内の投与が推奨されています。エボラ出血熱の治療で話題となった内服薬は、新型インフルエンザのパンデミック（世界的な大流行）に備えて国家備蓄されていますので通常は使用することができません。



今シーズンは上記グラフの通り、例年よりも早く感染者の報告が上がり始めています。



グラフ：神奈川県衛生研究所 インフルエンザ情報より引用

## 【ノロウイルス感染症】

ノロウイルスによる感染症で、**下痢、腹痛、吐き気、嘔吐**などの消化器症状が出現します。感染力が非常に強く10～100個という少ないウイルスで感染が成立します。以前流行したGI型ウイルス

は影を潜め、GII/4変異型ウイルスが世界的に猛威をふるっています。例年12月から1月に流行のピークがありますが、今シーズンはインフルエンザウイルスの流行に押されているせいか12月中旬現在で大規模な流行は見られていません。

感染の原因の1つは牡蠣<sup>かき</sup>などによる食中毒です。牡蠣の生食は控えて十分に加熱して食べましょう。もうひとつの原因は感染したヒトの下痢便や嘔吐物からうつる場合です。感染者本人との接触や感染者が触った環境からうつる場合もあります。下痢便や嘔吐物を処理するときにウイルスを含む粒子を吸い込んでうつる場合もあります。ノロウイルスはアルコールに耐性がありますので、手洗いは石鹸と流水で行ってください。便座やドアノブなどの環境の消毒には0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液を使用します。使用する際は人体にも有害ですので換気を良くして使用してください。また、金属には腐食性があります。

ノロウイルスは遺伝子レベルで変異しやすいのでワクチンの実用化はされていません。

治療についてですが特効薬はありません。下痢や嘔吐で脱水になりやすいのでスポーツドリンクなどで水分補給します。嘔吐物が気管に詰まって誤嚥性肺炎を起こしたり、窒息して死亡する場合があります。

インフルエンザやノロウイルスのいずれも、予防として非常に有効なのが手洗いです。

自分自身を感染から守ることができ、抵抗力の弱い高齢者や小児へ手からうつす感染を防止できます。インフルエンザやノロウイルスから自分も含め他の人を守ることができます。

自分を守ることは  
みんなのいのちを守ること  
になるのです。



2014年11月16日

# 世界糖尿病デー イベントレポート

World diabetes day

糖尿病看護認定看護師 手塚 奈央子

## 今年のテーマ「社会でサポートする糖尿病」

「ブルーサークル」は世界糖尿病デーのシンボルマークです

糖尿病の患者さんは世界中で増え続け、世界で2億4600万人、日本でもほぼ2210万人の方が糖尿病を抱えています。糖尿病の怖さを社会に広めて予防を勧め、もし糖尿病を患った方でも仲良く付き合いながら一病息災で共に長生きしましょうとお伝えするために、国連で制定された世界糖尿病デーにちなんで、当院では鎌倉の長谷寺で毎年血糖測定のイベントを開催しています。

当日は朝から文字通りの秋晴れで、拝観の方も早くからお見えでした。開始予定の10時より30分早く始める事ができ、スタッフの声かけに笑顔で参加される方が多く、嬉しい思いでした。

実はこのイベント、当院職員だけではとてもやりきれるものではなく、製薬会社の方や他院で働いている方も一緒に参加してもらえました。当院職員でも糖尿病内分泌内科だけでなく様々な部署の医師、看護師や薬剤師、管理栄養士、リハビリ、検査技師などの診療支援部と事務部が集結し、皆が同じ気持ちで参加できました。こういった活動が、日々の糖尿病患者さんに関わる業務をする上でも協力体制を取ることができ、湘南鎌倉らしいサービスにつながると信じています。



観音堂（長谷寺）

鎌倉大仏（高德院）

大船観音（大船観音寺）



シンボルマークの色にちなんでブルーにライトアップされます



11月16日の日曜日、今年も長谷寺の十一面観音様の足下という、とてもありがたい場所でイベントを行う事が出来ました。当日はたくさんの方が来て下さる様に、事前の広報活動を行いました。江ノ電の電車内に中吊り広告を出し、鎌倉駅や藤沢駅、江ノ電の各駅にポスターを貼らせて頂きました。病院近隣のクリニックにもパンフレットを置かせて頂きました。そしてブルーライトアップは今年もイベントの前日15日に、鎌倉大仏・長谷寺観音堂・大船観音が青く照らし出され、わざわざ見に来て下さった方も、車窓からいつもと違う色にビックリされた方にも、印象に残ったのではないかと思います。



江ノ電車内の中吊り広告

イベントの当日は、参加された方にアンケートの協力を頂き、926枚も集まりました。年齢は20歳代から70歳代の方まで幅広く、血糖値は食後の方が圧倒的に多く、92%の人はいわゆる食後正常値に収まっていた。しかし中には高血糖の方もおられ、しかも健診を何年も受けていないので自覚が無く気付かなかったという状態でした。イベント参加中の医師と相談して頂き、早急に病院を受診する様にお話できたのも、このイベント開催の成果でした。



血糖値を測定して・・・

ヘモグロビンA1cも測定



結果をパンフレットに書いてお渡ししました



検査担当  
頑張ってます！！



頂いたアンケートの中に「ご自身の今の血糖値を聞いてどう感じましたか？」という質問を設けました。集計結果は全体の38%の方がよく分からないとお答えでした。血糖値は健診項目で必須なので、どなたも測定された事がある筈なのですが…これをお読みの貴方は、血糖値の正常値はご存じですか？

今年のテーマは「社会でサポートする糖尿病」です。今回のアンケートで血糖値の認知度がとても低い事にショックを受けました。病院に来られた方だけでなく、社会への一次予防活動の必要性を痛感しました。そして院内で活動していると、社会の高齢化と共に糖尿病の患者さんの高齢化も進んでいると感じます。院内・院外で様々なアイデアを駆使し、社会全体で糖尿病患者さんをサポートできると良いと思います。今回イベントを企画・運営して、参加者の皆様やスタッフから嬉しい元気を頂きました。これからも、微力ですが糖尿病に携わるスタッフの一員として頑張っていきたいです。

イベント参加スタッフ



2014年9月12日（金曜日）

# QI(品質改善)大会が開催されました。

2014年9月12日金曜日の午後1時20分から今年のQI（品質改善）大会が開催されました。

年に一度行われるこの大会は、日ごろ「患者さんの安全」や「医療の安全のための品質の改善」を目標として行われている様々な改善活動の取り組みと成果を部署ごとに発表し、その内容を院内で共有し評価を行い、次の改善につなげていくための大会です。

今回は各部署が行っている数多くの改善活動の中から、11演題（診療部から6つ、看護部から1つ、診療支援部・事務部から4つ）が選ばれ発表を行い、その後職員による投票が行われました。



QI（品質改善）大会の様子



小林修三QIセンター長（副院長）より表彰状が渡されました  
転倒転落発生率「転倒転落アセスメント」発表 看護部 峯尾師長

この発表の中で、もっとも評価が高かったのは転倒転落発生率の推移を調査し、転倒転落発生率低減のための対策を導き出した看護部の「転倒転落アセスメント」の発表でした。全国でも急性期病院における転倒転落は、骨折や頭部打撲・出血などの損傷を引き起こす危険性が高く、その防止策を積極的に実施していくことが望まれています。この他、救命救急センターでの「トリアージの妥当性」や循環器科の急性心筋梗塞についての治療の内容についてなどが高い評価を得て、12月18日木曜日に表彰されました。

今後も患者さんの安全と医療の安全の改善に病院を挙げて取り組んでまいります。



## 湘南鎌倉バースクリニック

### 2016年開院予定

2014年10月23日「湘南鎌倉バースクリニック」の地鎮祭が行われました。

2016年の5月開院を目標として、現在旧湘南鎌倉総合病院の別館跡地に「湘南鎌倉バースクリニック」を建設しています。湘南鎌倉総合病院のお産センターでは正常分娩や、ローリスク（医療による介入が必要でない）分娩のほかに、合併症のある妊婦さんや高齢出産、早産などのハイリスク分娩に対応しています。建設中の「湘南鎌倉バースクリニック」では、前述の正常分娩の方とローリスク分娩の方を専門的に行う施設としてこの2つの分娩の機能を、同クリニックへ移管する計画です。また、バースクリニックと病院は緊密に連携をとり、妊娠期間中に異常があった場合などは、迅速に当院へ引き継いで安全最優先のケアを行います。

昼の風景：道路側から



夕方の風景：右側 モノレール



建設地は大船駅を発着している湘南モノレールの「富士見町駅」から徒歩で5分ほどの距離（旧湘南鎌倉総合病院近く）です。地上4階、地下1階建てで病室は全個室の19床。出産前後に訪れる妊婦さんの家族と一緒に宿泊できるスペースも検討しています。

# 2014年 11月より院外処方せん発行へ切り替わりました

当院では、国が推進する医薬分業の方針に従い、

## 平成26年11月より「院外処方せん」へ切り替わりました。



国が進める医薬機能分化、質の良い医療サービス提供のため、ご理解とご協力をお願いします。  
※お薬の内容によっては保険制度の理由で院内処方となるものもあります。

**お近くのかかりつけ薬局**（保険調剤薬局）を決めていただき、  
普段お飲みのお薬を伝えて頂くことをお勧めします

処方せんには期限があります  
**4日以内**に薬局へ  
お持ちください

6番お薬窓口前に、  
近隣の保険調剤薬局  
リストと、FAXコーナーを  
設置しています。

処方せん専用FAX



## 小児科の夕方診察休診について

小児科の夕方診察は、12月より休診しております。  
皆様にはご迷惑をお掛けいたしますが、宜しくお願い致します。

## 小児科診療受付時間

7:30 ~ 12:00  
月曜日から土曜日  
(祝日を除く) となります。



2014年

## 11月8日に行われた玉縄まつりに 参加しました



2014年11月8日に、玉縄小学校で「第21回玉縄まつり」が開催されました。

天候は曇りでしたが、地域の方の協力による多数の露店や、プラスバンドなどの色々なイベントが行われ、湘南鎌倉総合病院も参加し、ピーナッツと黒糖を販売しました。隣のブースでは特養がまくら愛の郷がコロケやチョコバナナを販売。こちらも人気ですぐに完売し、当院もご好評をいただいて、13時前には完売となりました。



この日は大船消防署から梯子車も来て、梯子に乗る体験などもあり、大変賑やかなイベントでした。

籠の中はピーナッツ  
上の袋は、奄美の黒糖です

梯子車で上まで



塩野院長も散策

